



## 地域の社会状況に応じた 住民要望に応える技術の開発促進・普及

### ユニバーサルデザイン体験施設

事務所構内に歩行者の安全と歩きやすさを重視・優先したユニバーサルデザインの各種交通付帯施設を再現し、誰でも白杖体験や車いす体験等が行えるようにしています。

#### ■ユニバーサルデザインとは…

「すべての人にとってできる限り利用可能であるように製品・建物・環境をデザインすることであり、デザイン変更や特別仕様のデザインが必要なものであってはならない」と定義されています。

平成17年度の施設完成から、のべ310団体・5776名の方が体験されています。(R3.3時点)



**Aゾーン** ユニバーサルデザインによる歩行体験ゾーン

**Dゾーン** コンクリート舗装部の比較体験ゾーン

**Bゾーン** 横断歩道部の比較体験ゾーン

**Eゾーン** 舗装材料の比較体験ゾーン

**Cゾーン** 従来型アスファルト舗装部のバリア体験ゾーン

**Fゾーン** 坂路・歩道橋上での比較体験ゾーン



車いす体験 (Fゾーン)



白杖体験 (Eゾーン)



## 土木構造物実習施設（施工不良等の発見及び防止）

公共工事の品質確保に取り組むために、各種土木構造物の施工不良や設計ミスなどを再現したモデルと正常なモデルを実物大モデルとして設置しました。一般の方にも「見て・触れて」構造物の仕組みや構造を理解していただけます。

～見て・触れて・考える～

### 土木構造物実習施設



土木構造物実習施設体験として、平成 18 年度の施設完成から、のべ 166 団体・2727 名の方が体験されています。(R3.3 時点)

### ユニバーサルデザイン体験施設 及び 土木構造物実習施設 の申し込みについて

事前に簡単な申し込みを頂ければ体験可能となっています。  
(企業等の職員の研修や学校における総合的な学習の場としても活用いただけます。)

申込用紙の入手は、下記のいずれかとなります。

- ① 四国技術事務所品質調査課にお越しいただき入手いただく方法。
- ② 四国技術事務所品質調査課宛に、返信先を記載した返信用封筒を同封した封書により請求いただく方法。
- ③ 四国技術事務所ホームページからダウンロードしていただく方法。

送付先：〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼1545

<http://www.skr.mlit.go.jp/yongi/univasal/entry.html>



申込書の送付先

**Mail** skr-yongia77@mlit.go.jp **FAX** 087-845-3998

施設の利用や申し込み等に関するお問い合わせ

**TEL** 087-845-3135 担当：品質調査課までご連絡ください。



## 研修施設

研修施設では、四国地方整備局職員や地方自治体などの職員を対象とした研修の他、他府省庁への施設の貸し出しを行っています。



第1教室(定員 50名)



第2教室(定員 20名)

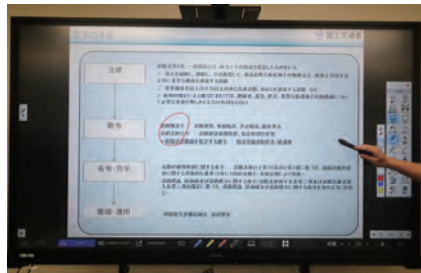


宿泊室(定員 23名)

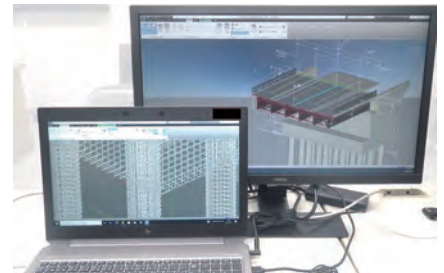


OA 教室

※測量・調査、設計から、施工、維持管理・更新の各段階において3次元モデルを導入し、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図るもの



大型タッチディスプレイ

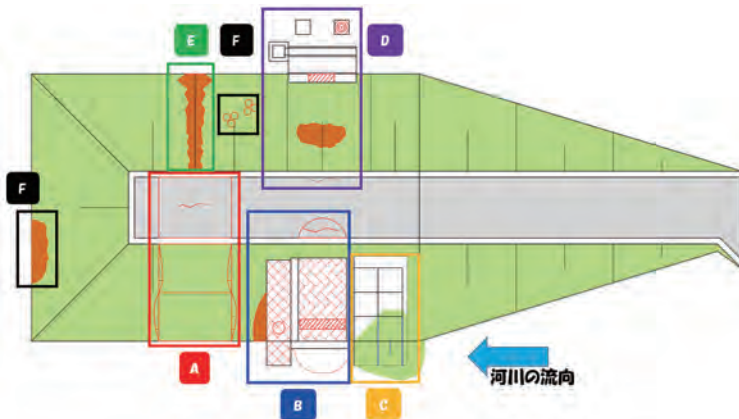


BIM/CIM※用高性能パソコン

※測量・調査、設計から、施工、維持管理・更新の各段階において3次元モデルを導入し、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図るもの

## 河川堤防点検実習施設

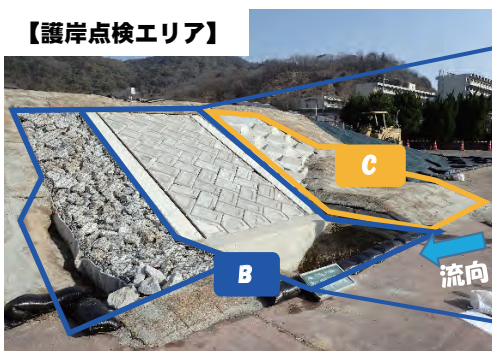
実河川での研修に好材料となる変状は、施設の維持管理上、早急に修繕され、実際に目にする機会が少ないため、河川堤防や護岸に発生する変状を再現した点検実習施設を整備し、堤防点検・調査等の維持管理に精通した職員の点検技術の効果的・効率的な向上を図ります。



### 【堤防点検エリアと再現した変状】

- A**：軟弱地盤の沈下による天端・法面の変状
- B**：流水による洗掘のほか、護岸に生じる変状
- C**：漏水封工の構造（積土ブロックによる構造）
- D**：河川水や雨水の浸透作用により生じる変状
- E**：植生異常や雨水によるガリ侵食などの変状
- F**：動物の掘り返し等により生じる堤体の変状

### 【護岸点検エリア】



### 【点検実習例】





## 計画研修の開催

業務の多様化、技術革新の進展などに対応すべく業務遂行能力の向上を目的に四国地方整備局職員および地方自治体などの職員に対し研修を実施しています。



新規採用職員研修



初任監督員研修



土砂災害対応研修



まちづくり・景観研修



維持管理技術(河川・ダム)研修



道路構造物管理実務者研修(橋梁初級Ⅰ)

## 基礎技術研修

四国地方整備局若手職員の基礎技術力向上のため、四国技術事務所では、簡単に参加できる短期の基礎技術研修を平成26年度から実施しており、その研修カリキュラムについては、体験研修や現場訓練などを主とし基礎的な技術習得を重視したものとしています。

これまでに「地質・土質」「コンクリート(基礎・応用)」「アスファルト」「測量」「CAD(2D・3D)」「工事工程プロセス」「水質」「水文」「無人航空機(UAV)操作講習」「環境教育」等各種の研修を定期的実施しており、今後も研修生のアンケートや反省点を踏まえ、研修コースの追加、研修内容の充実化を図っていきます。

### □ コンクリート基礎

コンクリートに係わる全体的な基礎説明、配合設計演習、コンクリート体験(配合設計・手練り・現場試験・強度試験等)などの実習を実施し、土木技術者としての技術力向上を図る。



### □ アスファルト

アスファルト舗装に関する概論や設計・施工・管理に関する基礎講習の受講に加えて、アスファルトプラント・舗装研究所の見学、人力舗設実習により、土木技術者としての技術力向上を図る。



### □ 無人航空機(UAV)操作講習

南海トラフ巨大地震等への体制確保として、無人航空機に関する法律、操作に必要な基礎知識、UAV実機による操縦訓練を実施し、四国地方整備局の操縦者育成を図る。



### □ 環境教育

各種スキル(判り易い内容の説明・説明時の技術・アイスブレイク・振り返りの重要性)向上の為、プロジェクトWETを利用し体験・気づき・学び・行動につなげる環境教育を実施し、土木技術者としての技術力向上を図る。

